

## 伊勢崎SFCイレブン

～保護者の皆さんに心がけて頂きたいこと～

### ◆保護者の心得◆

- 1 保護者も子供も自主性を持って行動出来るようにしましょう。

チームの活動は全て、指導者・審判・運営保護者のボランティアで成り立っています。

最初はみんな何をしたら良いのかわかりません。積極的に聞いて行動しましょう。

また、自主的に問題を解決していく大人を見て、子供たちもそれに見習えるよう教えてあげましょう。

少しずつ、子供が自分たちで出来ることを増やして行きましょう。

- 2 コーチやチームの考えを尊重してください。

指導陣は様々な事を考え指導に当たっており、グラウンドでの指導は全て代表・コーチに任せましょう。

応援が過熱するとつい親が口出してしまいそうになりますが、試合中の指示はコーチの役割です。

また、審判の判断は絶対であることも教えてあげましょう。

- 3 チーム活動中は子供との距離をとってください。

集合した時から、練習・試合が終わって解散するまでがチームとしての活動です。

チーム活動中子供たちは近くにいますが、はるか海のむこうにいるような気持で見守ってください。

親の手を借りず、家族以外の大人に身を任せることで子供は少しずつ、自立の仕方を自然に身につけます。

- 4 チームは大きな家族

活動日は週末・祝日です。仕事や事情があって練習や試合に来られない父兄もあります。

みんなで、協力してフォローしましょう。

- 5 ポジティブな応援をしましょう。

試合の後はダメな所ばかりに目が行きがちですが、それだけではなく、印象深かったプレーや楽しかったシーンを子どもに問いかけてみてください。

子供がミスをした時はもどかしいものですが、それは子供が一番分かっています。

ダメ出しや指示ばかりでは子供の逃げ場がなくなってしまいます。

また、子供への指導は指導陣の役割です。子供のチャレンジを認め、勇気づけてあげましょう。

6 忘れないでください。サッカーをするのはあなたの子供です。

親の応援に熱が入りすぎると、子供ではなく親が主役になってしまう事があります。

子どもが様々な失敗や成功などの経験を通じて成長していく子供のストーリーを見守ってください。

7 とにかく、見守ってください。

また、サッカーは自主的に判断しながらプレーするスポーツです。失敗を恐れて口を出してしまうのはわかりませんが失敗避けることで、失敗から成長する機会を奪ってしまう可能性があります。

失敗を振り返り自主的に考える事が次のプレーへの喜びに繋がります。

今日の失敗を過度に苦しめず、前を向くように勇気づけてあげてください。

8 みんなをリスペクトしよう

サッカーはチームプレーです。一人の失敗で試合に負けるわけではありません。

また、試合の相手チームがいないと成立しません。

敵味方なく、一人一人がそれぞれのチャレンジを尊重し、存在を認め合う努力をしましょう。

子どもたちは大人の言動を見習うので、暴言や悪口は慎み、子供が、自分たちに係るみんなをリスペクトできるよう一緒に努力しましょう。

9 サッカーには戦術があります。

試合に出られない子供を心配するのは親心ですが、サッカーには戦術があり戦術は指導陣が毎回その時の反省を活かして修正していくものです。

また、小学生ですと体も技術もすべて成長には個人差があります。

選手の起用については指導陣にお任せください。

10 《そして重要な鉄則について…》

チームの運営と言うものは昨日今日で作られたものではなく、長年の努力の積み重ねにより築き上げられたものです。

少しづつチームのあり方を改善し、より良い方向に向かうよう、これまで努力を重ねてきましたし、これからもそうありたいと思いますが、原則としてチームの方針及び指導内容については、すべて指導者側に任せていただくことの徹底を、お願いいたします。